

2022 ヴィンテージ

2022 年 10 月 4 日の記述による：

誰もが語りたい、共有したいことをどう表現すればいいのだろうか。2022 年という、非常に特別なヴィンテージの誕生を体験することができるなんて！2022 年に頌歌を捧げるためにウェルギリウスのような詩人が必要だと言う人もいるかもしれないが、実際には、今年はブドウ樹自身が自らの栄光への頌歌を書いたのである。植物界において比類なく素晴らしい植物であるブドウ樹が、これまで以上に、その回復力と極端な状況への適応能力を示した。

春の初めから、乾燥と暑さで人々や動物は苦しみ、庭は焼け、森の木々は枯れてしまった。同じ極端な条件にさらされたブドウ樹は、収穫まで途切れることなく緑を保ち続けた。天候によって我々の不安は掻き立てられ、ブドウ樹が生き残るために、実を諦めてしまい果汁のない状態や過熟になってしまうことを恐れていた。なぜならば 2003 年のように、過去の非常に暑く乾燥した年にもこの現象になりかけるのを見たことがあるからだ。しかし、ブドウ樹は最後までブドウを育て、果汁に満ちた、完璧に熟したブドウを我々に届けてくれた。

このレポートを書いている今日は、最後の収穫から 3 週間後であり、ワインは完成し、ワイン庫の静けさへと戻った。ブドウ樹もまた安堵し、秋の初めに遂に戻ってきた涼しさの中で休んでいる。葉は色が変わり始め、毎朝、まだ緑の中にもう少し赤が…もう少し赤銅色が…もう少し黄金色が混じり合う。果実を産んで眠りに就く前に燃え上がるブドウ樹の奇跡。それは栄誉ある秋であり、例外的という言葉だけでは言い尽くせないほどの年のエピローグであり、シーズンを通じたブドウ樹の適応力と驚くべき収量の多さは近年には類を見ない。

どうしても比較するのであれば、ブドウ樹が同じ達成を経験した年、2015 年…または 1999 年を思い浮かべることができるかもしれないが、我々にとって 2022 年は何よりも 1959 年を想起させる。この忘れられないヴィンテージは、品質と量の比率で 2022 年と比較できる唯一の年であり、ブルゴーニュが 19 世紀のフィロキセラの到来後に続いた 100 年あまりの惨状から復活した年でもあった。

さて話を本題に戻し、苦境に立たされながらも最終的に大成功を収めた 2022 年の冒険を語り、その驚異的な 2022 年の収穫を形作り、成功に導いたいくつかの要因を挙げてみよう。

これらの要因の筆頭に挙げるべきは、2021 年にブルゴーニュ全域を襲った壊滅的な霜であり、それが非常にわずかな収穫しかもたらさなかったことだ。これにより、ブドウ樹は未使用の栄養とエネルギーを「蓄える」ことができ、2022 年に気象条件が整えば使う準備ができていた。

これは大きな気候変動の後に続く年にはよくある現象で、発芽時に非常に多くの「花穂（かすい）」が観察された。

冬は特に寒くもなく雨が多くもなかったものの、12 月には霜の日やかなりの降雨があった。

重要なのは、4 月から暑さと乾燥が長期的に持続したことだ。これが早期の発芽を引き起こし、その結果、霜のリスクもあったが、幸運なことに影響はなかった。好天に恵まれた結果、ブドウ樹の生育が加速した。栽培チームにとって、通常は順番に行う作業（剪定、摘芽、新梢の誘導や固定など）が今年は重なり、非常に迅速に作業を行わなければなら

なかった。栽培長のニコラ ジャコブとディディエ デュボワと彼らのチームはこの難題に立ち向かったが、その代償として非常に長い労働時間となった。

同じく好条件により、開花も非常に早く、非常に迅速に進行した。5月20日頃に始まり、5月30日までに開花はいたる所で完了した。5月24日のほんの僅かだが恵みの雨がこの経過を加速させた。そのため、すべてのブドウの実が受粉し、花ぶるいはほとんど見られなかった。房の数も多く、全ての実が完全に開花したことから、すでに豊作を予感させた。

さらに、この好天候から、ブドウの通常の病気（ベト病、ウドンコ病、腐敗など）が全く発生せず、病気対策の回数を大幅に削減することができた。

6月は極めて暑かったものの、月末には大雨が降り、6月22日から26日には75 mm以上の降雨があった。この降雨はこの後に続く熱波をブドウ樹が乗り越えるのに大いに役立ち、この年のヴォーヌ・ロマネが素晴らしい成功を収めた重要な要因の1つであった。

7月は猛暑で何度も熱波が襲い、雨は全く降らず、また降る気配もなかった。8月も同様で、8月15日まで、過剰な暑さの影響で多くのブドウ畑で成熟の停滞が見られた。ブドウ樹が自己保存のために光合成による正常な成熟を忘れ、生き残るために自ら閉じこもる危険な兆候だ。8月15日から18日にかけて合計20 mmの雷雨に恵まれた。これがヴィンテージ成功のもう1つの重要な要因であり、最終的に暑さと乾燥がブドウの光合成による成熟を妨げなかった理由のひとつだ。ブドウ樹は正常に熟しただけでなく、果汁に満ちたブドウを実らせ、収穫量の予想を超えた。このことから、乾燥と非常に暑い条件によりブドウの全ての要素が濃縮され、完熟してもブドウの実には少量の果汁しか含まれないのではないかと懸念されたが、最終的には非常に高い熟度と多い果汁の両方を得ることができた。

こうした条件のもと、8月15日の恵みの雨の後に続いた好天を活かしてブドウの成熟が非常に急速に進んだ。

この展開に安心し、我々は収穫を開始する決断をするにあたり、成熟が非常に完全な状態になるのを待つというリスクを取った。

- 最初に収穫されたのはコルトンで、クロ デュ ロワ、ブレサンド、ルナルドの区画を8月30日に行った。
- リシュブール： 8月31日、9月1日、4日
- ロマネ・コンティ：9月1日、
- グラン・エシェゾー：9月2日、3日、4日、
- モンラッシェ：9月2日、
- ラ ターシュ：9月4日、5日、6日、
- ロマネ・サン・ヴィヴァン：9月7日、8日、10日（9日は休養に充てた）
- ヴォーヌ・ロマネ プティ・モン：9月10日、
- エシェゾー：9月11日、12日、13日、
- コルトン・シャルルマーニュ：9月8日、13日。
-

収穫は異例の長さで約15日間続いた。その理由は、白も赤も、素晴らしいブドウの量が並外れて多かった為で、実の腐敗や他の病気の痕跡もなく、非常に健全な状態で醸造所に到着した。日焼けしたり、やや乾燥したいくつかのブドウの実は、畑で収穫人によってほとんど取り除かれ、選果台での作業によってさらに精選された。

醸造所が、空のタンクもなく全て満たされている光景を見るのは久しぶりのことだ！私たちは喜び、昨年の低収量で我々から奪ったものを補ってくれた神々と自然の慈悲深さに感謝している。

2022 年の収穫から得られた教訓は多い。その中のひとつは、ブドウ樹の素材の重要性だ。収穫時、我々のところでは幸いにして少ないが、大きくて密集した重い房を持つブドウ樹と、多くの房を持ちながらも、房が小さく、密集していない、皮が厚い小粒のブドウ樹との違いが見られた。つまり、これらのブドウこそが、まだ発酵過程を終えたばかりの 2022 年のワインに、豊かさ、複雑さ、エレガンスを既に与えているのだ。

もうひとつの教訓は、シーズンを通して、さらに収穫後も青々としていたブドウ樹の適応力である。これは、我々が経験している、そして将来も経験するであろう、特異な気候条件へ適応し始めている証だろう。

未来のことはもちろんわからないが、この 2022 年のヴィンテージは、小粒タイプのブドウ樹とそれに相性の良い台木を組み合わせた我々のピノ ノワールとシャルドネの適応能力に対する自信をさらに強めることができた。

このヴィンテージのおかげで、特定の台木の適応能力をこれまで以上に明確に評価することができるようになり、我々が直面するであろう極端な気候条件に適応した優れた台木を選択する際の指針となるだろう。

もうひとつの教訓：収穫日を適切に選ぶことの重要性は、相変わらず不可欠である。以前のレポートでも書いたように、ヴィンテージの成功は、もちろん 1 年を通して自然と人間の共同作業に左右されるが、我々がリスクを取ったこと、そして運にも左右されると認めなければならない。霜や雹、その他の大きな不測の事態に見舞われなかったことは、他の生産者と比べると非常に幸運だった。糖とタンニンの熟度とフレッシュさの適切なバランスを保つためにブドウが熟しすぎず、適度に熟すのを待つという我々が取ったリスクは、つまり、ブルゴーニュ的ではない、重たいワインを生み出す可能性のある過熟したブドウを避けることだった。

現在、ワインはほぼ全てのものが完成し樽に移された。醸造は非常に穏やかで自然に進行した。タンク内の見事なブドウとマセラシオンの順調な進行により、アレクサンドル ベルニエ率いる醸造チームは素晴らしい収穫結果を最大限に表現するために各タンクや各キュヴェそれぞれの醸造を細かく調整することができた。

その結果は素晴らしいもので、色合いは美しく、アロマは既に発達し、香りに富んでいる。口に含むと、タンニンはしなやかだが、特にフレッシュさ、フィネス、エレガンスはこの年の気候条件を考えると驚くべきものだ。ここでもまた、我々のブルゴーニュのブドウ品種が前世紀に経験した条件とは異なるが、ブドウ樹のゲノムが時代に応じて適応する能力を持っていることを証明している。

白ワインは、静寂なワイン庫の樽や大樽の中でまだ発酵を続けている。モンラッシェとコルトン・シャルルマーニュのブドウ畑では花ぶるいはなく、完璧に熟した黄金色のブドウが大量に収穫された。どちらも、稀にしか降らない雨の恩恵を受けたが、時期は違えど、その量はほぼ同量だった。どちらも非常に厚い果皮が全ての攻撃から果実を守り、完璧な健康状態のブドウ樹から収穫された非常に透き通った果汁は、現在発酵を終えるところだ。